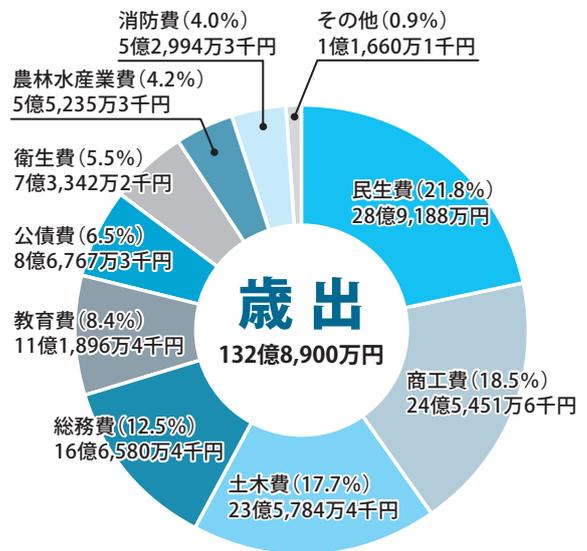
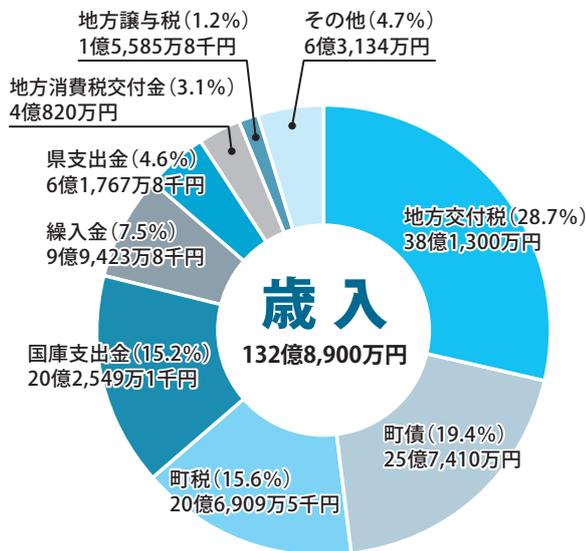


令和7年度 当初予算の概要



一般会計予算総額 132億8,900万円(対前年度比 22.6%増)



歳入

歳入を前年度と比較すると、町債は、前年比10億5,570万円、69.5%の増額となりました。道の駅かつら移転整備事業の本格化に伴い、過疎対策事業債を前年比6億6,230万円増額し、また、避難所環境改善を目的とした事業等の実施に伴い、緊急防災・減災事業債を前年比1億5,940万円増額しています。町債の発行にあたっては、交付税措置率の高い地方債を有効活用することで町財政負担の軽減を図っています。

国庫支出金についても、町債同様、道の駅かつら移転整備事業の本格化などに伴い、前年比11億5,418万9千円、132.5%の増となりました。

県支出金については、参議院議員通常選挙や茨城県知事選挙、5年に一度の国勢調査の実施に伴い、前年比4,520万7千円、7.9%の増となりました。

その他は、前年比3.2%増となり、金利の上昇に伴う、町の預金利息収入などを計上しました。

歳出

歳出を前年度と比較すると、商工費は、道の駅かつら移転整備事業に18億8,548万4千円、ホロルの湯長寿命化改修事業に2億3,303万3千円を計上するなど、商工観光のさらなる振興および観光施設の魅力度を高めるため前年比17億5,957万8千円、253.2%の増となりました。

土木費は、道路の維持改良事業、河川の護岸整備事業および町営住宅の建替事業や設備修繕事業などの計上に伴い、前年比5億3,914万円、29.6%の増となりました。

民生費は、ななかいこども園建替事業や計画策定などの事業が完了することにより前年比5,689万4千円、1.9%の減となりました。

農林水産業費は、飼料価格高騰の影響を受ける牛飼養農家への支援に1,100万円を計上しましたが、茨城県が実施する土地改良事業への負担金や、町下水道事業への補助金や出資金が減額したことにより、前年比2,936万2千円、5.0%の減となりました。

各会計の当初予算額

会計名	令和7年度 予算額	対前年度比
一般会計	132億8,900万円	22.6%増
特別会計等	80億2,280万4千円	3.0%減
国民健康保険特別会計(事業勘定)	20億7,033万9千円	2.2%減
国民健康保険特別会計(施設勘定)	2億3,421万円	3.8%増
後期高齢者医療特別会計	3億482万5千円	0.6%減
介護保険特別会計(保険事業勘定)	24億9,310万1千円	1.5%減
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	659万3千円	16.7%増
水道事業会計	11億2,396万6千円	3.8%減
下水道事業会計	17億8,977万円	6.7%減
合計	213億1,180万4千円	11.5%増